



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社
コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関 広之 TEL 03-5220-8950
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 20,655 | △1.7 | 2,969 | △27.9 | 3,881 | △6.2 | 2,965 | 8.7 |
| 24年3月期第3四半期 | 21,020 | △0.4 | 4,118 | 34.3 | 4,137 | 37.1 | 2,728 | 27.1 |

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,090百万円 (39.7%) 24年3月期第3四半期 2,212百万円 (18.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | 52.20 | — |
| 24年3月期第3四半期 | 48.03 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 68,901 | 59,683 | 86.6 |
| 24年3月期 | 68,730 | 58,013 | 84.4 |

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 59,683百万円 24年3月期 58,013百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 12.50 | — | 12.50 | 25.00 |
| 25年3月期 | — | 12.50 | — | | |
| 25年3月期（予想） | | | | 12.50 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 26,750 | △1.2 | 2,700 | △41.5 | 3,550 | △25.6 | 2,700 | △17.5 | 47.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、『添付資料』P. 3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 25年3月期3Q | 58,584,093株 | 24年3月期 | 58,584,093株 |
| 25年3月期3Q | 1,777,182株 | 24年3月期 | 1,776,833株 |
| 25年3月期3Q | 56,807,107株 | 24年3月期3Q | 56,807,443株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成25年2月5日より当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）の売上高は、前年同期と比べ1.7%減の206億5千5百万円となりました。これは、国内アルツや海外医薬品の販売数量が増加した一方で、薬価引き下げや研究用試薬事業廃止等による減少があったことによるものです。

利益につきましては、施設の新設や各開発テーマ進捗に伴う研究開発費に加え、ジェル・ワン訴訟費用などもあり販売費及び一般管理費が7億7千7百万円増加したことから、営業利益は27.9%減の29億6千9百万円となりました。経常利益は、受取ロイヤリティーの増加や、保有外貨建資産の為替評価が差益に転じたことにより減益幅が縮小し、6.2%減の38億8千1百万円となりました。四半期純利益は、前年同期に計上した震災に伴う特別損失が当期は無かったことや、高萩工場の産業再生特区指定による優遇税制の適用等により税金費用が減少したことから、8.7%増の29億6千5百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

・国内医薬品（138億5千万円、前年同期比2.3%減）

関節機能改善剤アルツは、高齢者人口の増加や変形性ひざ関節症の疾患啓発活動の効果により引き続き市場が拡大するなか、平成22年に投入したプラスチックシリンジ製品の貢献もあり、医療機関納入本数が増加し市場シェアも拡大しました。しかしながら、当社の売上は薬価引き下げの影響を受けほぼ前年同期並みとなりました。

眼科手術補助剤オペガンは、前年同期に震災や節電の影響を受けて白内障手術件数が減少した反動により、医療機関納入本数は増加しましたが、厳しい競合が継続しており、市場シェアは減少しました。当社売上は、薬価引き下げや販売提携先の在庫調整の影響により減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、内視鏡手術の手技を浸透させる施策が評価されたこともあり、増加しました。

・海外医薬品（32億4千万円、同19.0%増）

米国向け関節機能改善剤スパルツは、競合品との差別化に特化した営業戦略を進めたものの、投与回数が多い製品を償還非推奨とする保険会社が徐々に増えていることから、現地販売は減少しました。当社の輸出売上は、販売提携先が在庫水準を高めたこともあり増加しました。

単回投与の米国向け関節機能改善剤ジェル・ワンは、平成24年8月の特許侵害訴訟における勝訴判決を受け、同年10月より出荷を再開しました。現在、販売提携先のジンマー社と本格販売に向けた準備を進めています。

中国向けアルツは、主要都市の医療機関を中心に「高い品質」や「世界初のオリジナル製品」であることが評価され、現地販売は好調に推移しました。当社の輸出売上は、現地需要に対応するための前倒し出荷もあり、大幅増となりました。

・医薬品原体（8億9千4百万円、同19.1%減）

ヒアルロン酸は前年同期に出荷が高水準であった反動を受け、減少しました。また、コンドロイチン硫酸の出荷も低調に推移しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は179億8千5百万円（同0.1%減）となりました。

<LAL事業>

国内での品質管理向けエンドトキシン測定用試薬などが堅調に推移しましたが、平成24年3月の研究用試薬事業廃止の影響により、売上高は26億6千9百万円（同11.3%減）となりました。

報告セグメントの変更等について

研究用試薬事業の廃止や、生化学バイオビジネス株式会社（旧連結子会社）の吸収合併に伴い、平成25年3月期より報告セグメントを変更しております。従来、試薬・診断薬（エンドトキシン測定用試薬、研究用試薬）及び医薬品原体で構成していた機能化学品事業のうち、医薬品原体を医薬品事業に含め、エンドトキシン測定用試薬をLAL事業としております。変更後の各セグメントの売上高に含まれる内容は、以下のとおりです。

- ・「医薬品事業」：国内医薬品；国内市場向け医薬品に関連する売上高
海外医薬品；医薬品の輸出に関連する売上高
医薬品原体；国内外の医薬品原体等に関連する売上高
- ・「LAL事業」：エンドトキシン測定用試薬に関連する売上高

(2)連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期において、当第3四半期における海外医薬品の前倒し出荷の反動や研究開発費の相応の消化を見込み、平成24年11月6日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

<参考：平成25年3月期連結業績予想>

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

| | | | |
|-------|-----------|------|---------|
| 売上高 | 26,750百万円 | (前期比 | 1.2%減) |
| 営業利益 | 2,700百万円 | (" | 41.5%減) |
| 経常利益 | 3,550百万円 | (" | 25.6%減) |
| 当期純利益 | 2,700百万円 | (" | 17.5%減) |

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,011 | 6,291 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,903 | 9,710 |
| 有価証券 | 10,370 | 7,085 |
| 商品及び製品 | 2,562 | 2,561 |
| 仕掛品 | 775 | 1,160 |
| 原材料及び貯蔵品 | 935 | 1,157 |
| 繰延税金資産 | 609 | 596 |
| その他 | 645 | 955 |
| 貸倒引当金 | △1 | △2 |
| 流動資産合計 | 30,812 | 29,516 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,776 | 15,589 |
| 減価償却累計額 | △8,950 | △9,272 |
| 建物及び構築物（純額） | 5,826 | 6,316 |
| 機械装置及び運搬具 | 10,251 | 11,179 |
| 減価償却累計額 | △8,554 | △9,133 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,697 | 2,045 |
| 土地 | 790 | 790 |
| リース資産 | 1,237 | 1,229 |
| 減価償却累計額 | △607 | △717 |
| リース資産（純額） | 630 | 511 |
| 建設仮勘定 | 4,367 | 7,476 |
| その他 | 3,119 | 3,557 |
| 減価償却累計額 | △2,348 | △2,600 |
| その他（純額） | 770 | 957 |
| 有形固定資産合計 | 14,082 | 18,097 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 277 | 233 |
| 無形固定資産合計 | 277 | 233 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 22,161 | 19,529 |
| 長期貸付金 | 200 | 180 |
| 繰延税金資産 | 59 | 59 |
| その他 | 1,361 | 1,481 |
| 貸倒引当金 | △224 | △196 |
| 投資その他の資産合計 | 23,557 | 21,053 |
| 固定資産合計 | 37,917 | 39,385 |
| 資産合計 | 68,730 | 68,901 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,250 | 1,443 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 700 |
| リース債務 | 191 | 193 |
| 未払金 | 5,615 | 4,405 |
| 未払法人税等 | 941 | 566 |
| 賞与引当金 | 608 | 310 |
| 災害損失引当金 | 16 | 16 |
| その他 | 352 | 630 |
| 流動負債合計 | 8,974 | 8,266 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 700 | — |
| リース債務 | 407 | 273 |
| 繰延税金負債 | 436 | 479 |
| 資産除去債務 | 100 | 102 |
| その他 | 96 | 96 |
| 固定負債合計 | 1,742 | 951 |
| 負債合計 | 10,717 | 9,218 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,840 | 3,840 |
| 資本剰余金 | 5,301 | 5,301 |
| 利益剰余金 | 51,004 | 52,550 |
| 自己株式 | △2,077 | △2,077 |
| 株主資本合計 | 58,069 | 59,614 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 852 | 976 |
| 為替換算調整勘定 | △908 | △908 |
| その他の包括利益累計額合計 | △56 | 68 |
| 純資産合計 | 58,013 | 59,683 |
| 負債純資産合計 | 68,730 | 68,901 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 21,020 | 20,655 |
| 売上原価 | 7,502 | 7,509 |
| 売上総利益 | 13,518 | 13,146 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売手数料 | 1,453 | 1,462 |
| 人件費 | 1,433 | 1,399 |
| 賞与引当金繰入額 | 92 | 86 |
| 退職給付費用 | 71 | 57 |
| 研究開発費 | 4,376 | 4,911 |
| その他 | 1,972 | 2,258 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 9,399 | 10,176 |
| 営業利益 | 4,118 | 2,969 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 154 | 124 |
| 受取配当金 | 169 | 162 |
| 為替差益 | — | 35 |
| 受取ロイヤリティー | 12 | 628 |
| その他 | 69 | 92 |
| 営業外収益合計 | 406 | 1,043 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29 | 24 |
| 為替差損 | 208 | — |
| 投資有価証券評価損 | 50 | 77 |
| 固定資産除却損 | 13 | 29 |
| その他 | 84 | 0 |
| 営業外費用合計 | 386 | 131 |
| 経常利益 | 4,137 | 3,881 |
| 特別損失 | | |
| 災害による損失 | 73 | — |
| 特別損失合計 | 73 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,064 | 3,881 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,336 | 931 |
| 法人税等調整額 | △0 | △16 |
| 法人税等合計 | 1,336 | 915 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,728 | 2,965 |
| 四半期純利益 | 2,728 | 2,965 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,728 | 2,965 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △363 | 124 |
| 為替換算調整勘定 | △152 | △0 |
| その他の包括利益合計 | △515 | 124 |
| 四半期包括利益 | 2,212 | 3,090 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,212 | 3,090 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|----------------|--------|-----|----------------------------|
| | 医薬品 | L A L (注) 1 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 18,010 | 3,009 | 21,020 | — | 21,020 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 46 | 46 | △46 | — |
| 計 | 18,010 | 3,056 | 21,067 | △46 | 21,020 |
| セグメント利益 | 3,538 | 580 | 4,118 | — | 4,118 |

(注) 1. L A L 事業は、廃止した研究用試薬事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) |
|-----------------------|---------|-------|--------|-----|--------------------------|
| | 医薬品 | L A L | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,985 | 2,669 | 20,655 | — | 20,655 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 17,985 | 2,669 | 20,655 | — | 20,655 |
| セグメント利益 | 2,376 | 592 | 2,969 | — | 2,969 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

研究用試薬事業の廃止や、生化学バイオビジネス株式会社(旧連結子会社)の吸収合併に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。従来、試薬・診断薬(エンドトキシン測定用試薬、研究用試薬)及び医薬品原体で構成していた機能化学品事業のうち、医薬品原体を医薬品事業に含め、エンドトキシン測定用試薬をL A L 事業としております。

なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。